

ちば里山新聞

(第28号)

編集・発行 NPO法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
 電話 0438-62-8895
 題字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの委託事業を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています。

「東北地方太平洋沖地震」はこれまでに経験のない甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。共に復興に向けて努力をしていきましょう。

第8回 里山シンポジウム開催



主催者 里山シンポジウム実行委員会、NPO法人ちば里山センター、千葉県
 (里山シンポジウム実行委員会アドレス <http://www.satoyama.jp/>)

主催者挨拶より

里山シンポジウム実行委員会代表 金 親 博 榮



今回の開会に先立ちまして、東日本大震災によって被災し、亡くなられた多くの方々に、黙とうをささげ、冥福を祈りたいとおもいます。どうぞご起立を下さい。(1分間の黙とう) 今回で、8回目を迎えます本シンポジウムは、2004年、千葉県里山条例の施行を期してスタートしたものです。条例は市民の里山保全の意欲を、里山を提供する地主の意思に合致させ、2者間での利用協定を県が認定し、資金面でも支援し、そして安定的、継続的な里山の活動を担保し、活発な市民活動を里山に引きいれようとしたものです。そういった趣旨でございます。その中で個々の里山支援団体が活動しやすいようにと中間支援組織として、ちば里山センターが設立され、毎年活発化しており、現在では100団体以上が県内から参加をいただいております。本シンポジウムは、毎回、分科会とその集大成のごとき全体会で構成されています。分科会は5月18日を里山の日と定めたことから、この期日の前後に合わせてたくさんの分科会が開かれてきました。これら一連の里山シンポジウムや分科会活動が、全国的にも「里山の千葉県」ということで評価が高くなっていると聞いております。

“来賓挨拶”より

千葉県農林水産部森林課長 向 後 宏 保



皆様方こんにちは、千葉県森林課の向後と申します。里山シンポジウムの開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。初めに、このたびの東日本大震災により、被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。県では、一刻も早い復旧・復興に向け、取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。今年の、里山シンポジウムでございますが、大震災の影響により開催が危ぶまれていたのですが、いすみ市において第8回目を迎えることができました。地元いすみ市のご配慮やいすみ市の皆様方のご尽力の賜物と、この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。今回のシンポジウムのテーマは、「里山里海と食～夷隅の根っこから元気に～」ですが、これはいすみの里山里海の恵みを食という角度で考え、地域を再認識し、皆様方といすみ市の力を見直そうというものです。会場の皆様方には基調講演をお聞きいただき、午後からの5つの車座意見交換会にも、ぜひご参加をいただき、いすみ市での里山里海における様々な課題について話しあい、認識を深めながら、かけがえのない美しい里山里海を保全し、次代に引き継いでいく事について、ご意見を交わしていければと考えています。

全体会内容

- 1.基調講演「やれば出来る！2億から75億への成長の軌跡」 仲野 隆三氏
- 2.屋外テント村「夷隅のうまいもの食っちゃおう」 いすみ市民
- 3.車座意見交換会、総合討論（5グループ）

第8回里山シンポジウムエクスカージョン エクスカージョンは従来の見学会や説明を受けるタイプの視察とは異なり、訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わし、地域の自然や歴史、文化など、さまざまな学術的内容で専門家の解説を聞くと共に、参加者も現地での体験や議論を行い社会資本に対する理解を深めていく「体験型の見学会」です。4コース実施しました。



国際森林年関連事業「森を歩く」をテーマ

日時 平成23年5月14日

新緑の里山で一日里山活動体験 体験メニュー

- ◇自然観察 田んぼ、雑木林等で里山の昆虫や植物を観察
- ◇里山活動 杉の伐倒実演、杉の皮むき、腰かけ作り、綿の種まき



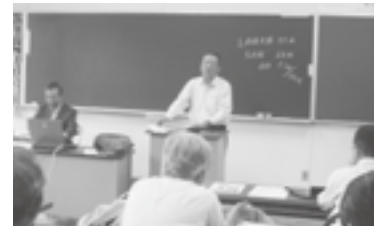
共催 いちはら里山クラブ・特定非営利活動法人ちば里山センター

本年は「国際森林年」世界中で様々な取り組みが行われています。私たちも市民として参加していきましょう！

里山セミナー開催 平成23年6月26日 11時30分

講師 「都市と里山を繋ぐ」 北総里山倶楽部 黒澤 誠悦 氏

日頃の活動を紹介しながら、都市住民として、都市部でのボランティア活動の中でも里山活動を紹介しながら緩やかに繋いで行く。そのことで会員が増えてもきたと思う。豊富な体験談を交えたお話くださいました。



講師 「森林・林業振興計画」 千葉県農林水産部 森林課 西野文智 氏

「森林・林業振興計画」について御講演くださいました。中でも里山活動団体に関する部分については細部にわたり、解説を加えてくださいました。

国の施策が大きな方向転換を迎える時期となり、このことについての詳細はおつてご理解いただけるようしてまいりたいと思います等、全体として解りやすく丁寧にご講演くださいました。

東日本大震災被災者へ寄付 活動団体からちば里山センターへ贈呈

特定非営利活動法人ちば里山センターに託された義援金新体制の理事会で有効に使用されるよう検討いたします。



里山交流会議 林野庁 「平成23年度森林づくり国民運動推進事業」

◆海岸防災林は津波に効果を発揮したか

講師 竹内 進氏 (千葉県インストラクター会)

東日本大震災における海岸防災林による津波被害の軽減効果について、青森県八戸や本県の山武市における事例等の報告があり、津波被害に軽減効果のある海岸防災林として、林帯幅や樹高などマツ林の質の重要性、砂丘との相乗効果などが具体的に説明されました。

(当日配布資料ご希望の方はちば里山センター事務局まで)



◆生物多様性への取組み (東京ガス)

講師 大堀 敦男氏 (東京ガス千葉支店地域広報グループ)

環境戦略を着実に実行するためにグループ全体の環境保全ガイドラインを設けておりますが、昨年度、さらに、生物多様性保全の推進ガイドラインをはじめとする3つのガイドラインを追加しました。

企業としての環境取組みの中でも「生物多様性への取組み」を重要と捉えていることを具体的にお話し下さいました。



平成23年特定非営利活動法人ちば里山センター総会開催



平成23年6月26日〈日〉10:00～

- (1) 報告第1号 平成22年度事業報告について
- (2) 報告第2号 平成22年度収支決算報告について
監査報告について
- (3) 議案第1号 平成23年度事業計画について
- (4) 議案第2号 平成23年度収支予算について
- (5) 議案第3号 役員を選任について

全議案原案どおり可決承認されました。

特定非営利活動法人ちば里山センター総会 祝辞 千葉県農林水産部 森林課長代理 副課長 並木康雄氏

本日は、(特定非営利活動法人)ちば里山センターの通常総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

東日本大震災では、多くの尊い命が奪われ、本県においても甚大な被害が発生いたしました。被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。東日本大震災から3ヶ月が経過しましたが、県では、5月補正予算に続き、6月議会に補正予算案を上程しており、深刻な状況が続く原発事故対応としての放射性物質の総合監視体制の整備や被災者、農業者等の方々へのさらなる支援などを推進いたします。一日も早い復旧と将来を見据えた復興を目指して取り組んでまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「ちば里山センター」がNPO法人となり1年が経過しました。平成16年10月1日に「ちば里山センター」が設立されてから、延べ7年間、ちば里山センターの運営に携わり、多大なご尽力をいただきました皆様方には、深く感謝を申し上げます。これからも、特定非営利活動法人ちば里山センターが、里山の保全、整備及び活用を総合的に支援する機関として、さらに飛躍されますよう期待しております。

さて、里山条例が平成15年度に施行されてから、里山を取り巻く社会情勢も変化しております。都市地域の里山活動が盛んになってきた一方で、県南部などでは、過疎化や耕作放棄地の拡大などにより、里山の荒廃は広がっております。一方、企業など多様な主体が、さまざまな形で里山保全に関わろうとしており、これらを促進する新たな取り組みも求められております。

このように、地域の特性や多様な要請に応える里山づくりが必要となる中で、持続的な里山活動に必要な「担い手の確保」も課題となっています。

昨年、策定した千葉県総合計画「輝け！ちば元気プラン」では、10年後の目指す姿のひとつを「県民が積極的に森林づくりに参加し、里山を中心とした美しい景観が保全される」としております。今年の3月に公表した「森林・林業振興計画」において、取り組みの基本方向として「多様な人々の参画による里山地域の活性化と森林の活用」を掲げており、県では多様な主体の参画・協働による里山活動を市町村等と連携を図りながら取り組むこととしております。

ちば里山センターにおかれましては、地域に根ざした里山活動の促進や里山活動団体の自立支援など、さらなる「担い手の確保」に向けて、今後も取り組まれますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、ちば里山センターの益々の発展とお集まりの皆様方のご健勝を祈念して、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。

新役員一言コメント

金親博榮理事長 自然の偉大さ、怖さを改めて認識する事となった今、里山は国民が共有する「価値ある自然資産」としての座を高めています。里山を活かす活動に、楽しい、新しい仲間が増え、益々広がる自然な生き方へのトレンドの中で、2年の任期は瞬間に過ぎてしまいそうです。里山が担う多面的な役割を、存分に活用し、県民の健康増進、余暇活動の基地となり、地域づくりの輪がひろがり、千葉県がもっと生き活きた空間となるために、地主、行政、企業と手を携え、活動していきましょう。

高橋和靖副理事長 里山団体とのコミュニケーションを大切にするセンターでありたいと考えます。里山団体の皆さんとの交流を通じて、それぞれの里山の良さを発見し、ともに育ててゆければと思います。忌憚のないご意見ご提案、あるいはご要望など、何なりとお寄せ下さいますようお願いいたします。

特定非営利活動法人ちば里山センター役員～一言コメント～（順不同）

風間俊雄理事 突然の拜命に感づいているところであり、私に何が出来ますかはなはだ疑問であります。しかしながら拜命を受けた以上任期いっぱい皆様の期待に応えられるよう頑張る所存であります。私は現在、市原市内を拠点としてボランティアで里山保全活動を行っており、里山センター様から日頃ご指導を受けている立場にあります。これからは両者の立場で千葉県の里山保全活動がさらに発展・深度化することに少しでも寄与できればと考えております。

鈴木恵子理事 里山という言葉がよく聞かれるようになりました。里山活動が特別なことではなく、日常の生活の一部になるようにしていきたいです。そして、子どもたちが安全、楽しく遊べる森作りを進めていきます。

小西博典理事 初年度に引き続き、特定非営利活動法人ちば里山センターの理事を拝命し、その責任の重さに身の引き締まる想いです。千葉の里山に関し、廣い視野と将来の展望にたった会員皆様の御意見を拝聴し、ちば里山センターの運営に当たる所存です。どうぞ宜しくご指導ご支援下さるようお願いいたします。

杉山茂嘉理事 里山活動を通して里山遊びと田舎暮らしや猪対策を考えた活性化に取り組みたい！安房地域での里山は高齢過疎化地域になって手入れ不足の山地が放置され猪の隠れ家に変貌して来ましたが、自然を大切に活性化する里山活動を考え里山活動家や行政等と連携できる様を持って行きたいと思っています。都市部近傍に比べ活動家が少ないが、広い土地と自然の材料を活用する技術を高めながら物づくりが楽しめる自然工夫塾にしたい、時間がゆっくり流れる里山で在住者と移り住ん人の交流場にした里山活動技術を楽しめる事が、子供達からお年寄りに至る里山活用で繋がれると考え里山の保全、整備、活用を勉強し生物多様性や環境保全をおこなって行きたいと思っています～・・・一生懸命に里山活動に取り組みますのでご指導やご意見を下さい、宜しくお願いします

若本重男理事 美しい里山は人を元気にし、人は道に親しむ。地域の活性化を目指して取り組みます。

那須捷雄監事 2年間若本監事と試行錯誤しながら、会員、理事、職員の協力を頂きながら、法人化をすすめてまいりました。「房総の原風景である里山の保全・再生に寄与することを目的とする。」を達成するため業務監査、会計監査を行い。会員や広く県民の要望に応えるためのコンプライアンスを高め、当会の発展に寄与したいと考えます。NPOの資金の充実も公正な運営が求められます。そして、これらを公開して県民や企業の協力を頂き、当会のミッションを進めて里山の整備を通じて、会員の人間形成になればと考えます。2期目、監事としてコンプライアンスをつうじて、従来の会計監査の枠にとらわれずNPO法。定款をふまえて、問題を指摘して改善提案を行っていききたいと考えます。会員 理事 職員のご支援をお願いして、監事就任の挨拶に代えさせていただきます。

新井孝夫理事、小野田典生理事 高橋明美理事 鶴岡清次理事 よろしく願いいたします。



ちば里山センター会員団体の【今後の行事予定】



7/11	森林浴と自然観察 (おとずれ山の会)	7/31	第9回国際里山のつどい (谷当グリーンクラブ)
7/16・17	谷津田の草取りとホテル観賞 (上総自然学校)	8/9	親と子の森林体験教室 (わんぱくの森)
7/24	資格取得研修(刈払機) (市原米沢の森を考える会)	8/28	里山寄席 (谷当グリーンクラブ)
7/30	袖ヶ浦の宝物発見隊！ (上総自然学校)	9月	栗拾い体験 (里山保全「自然塾」)
7/31	ツリークライミング体験会 (さんむ・アクション・ミュージアム)	※中止となる場合がございますので、事前にお問い合わせ下さい。	

写真パネル展「里山の生きもの復活作戦」

「里山の生きもの復活作戦」の活動経過やその意義について、A3又はA4の写真200枚をパネル展示し、生物多様性を守る必要性を多くの市民に知っていただきたいと思ひます。(しろい環境塾)

開催日及び場所

2011年 7月30日(土)～8月 7日(日) 西白井駅 8月 7日(日)～8月14日(日) 白井駅
8月14日(日)～8月21日(日) 小室駅 8月21日(日)～9月 4日(日) 千葉NT中央駅
9月 4日(日)～9月18日(日) 西白井複合センター お問合せは 上西 047-491-0660

里山IN南房総

農作業体験&婚活交流イベント 2011年8月6日 募集締め切り7月22日
主催 JA安房 0470-24-9114 JA安房担い手対策課 Mail einou-02@ja-awa.or.jp
会場 森の時計・自然工夫塾

※詳細については、ちば里山センターホームページをご覧ください。※参加お申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

TEL 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896
e-mail: info@chiba-satoyama.net

